

アレルギー性鼻炎の治療を考えてみませんか？

健 康

通 信

常陸大宮済生会病院 小児科医長 七字 美延

「鼻が詰まる（鼻閉）」、「くしゃみが出る」、そんな症状はありませんか？鼻閉やくしゃみは鼻の粘膜の炎症である「鼻炎」の主な症状ですが、ウイルス感染によるいわゆる「風邪」や、アレルギーの原因物質である「アレルゲン」はその主要な原因となります。アレルゲンは、私たちが日常生活で触れるもの、食べるものなど人によって様々です。春の訪れとともに鼻閉でティッシュが手放せなくなる方、その原因はスギ花粉、つまりスギアレルギーかもしれません。そして、1年中「鼻がすっきりしない」という方、大掃除や衣替えなど埃が立つと特に症状が悪化するとお感じの方は、ダニ（ハウスダスト）アレルギーかもしれません。

近年、ダニ・ハウスダストアレルギーやスギ花粉アレルギーの方に対して、「舌下免疫療法」という選択肢ができました。この治療法は、「症状の原因となるアレルゲンを少量から投与することで体をアレルゲンに慣らし、症状を和らげる／体質を改善する」ことが期待できます。治療には問診や血液検査によりこれらのアレルゲンが症状の原因になっているという確定診断が必要で、推奨される治療期間はやや長く3～5年、毎日内服を継続することが必要です。小さな錠剤を舌の裏に置き1分後に飲み込みますが、口に入れるとあっという間に唾液に溶けてしまうので、錠剤に慣れ

ない5歳以上のお子さんでも治療を開始できます。

体に直接アレルゲンを入れる治療なので、アレルギー症状が起こる可能性も考え、治療開始時は処方する医療機関内で初回内服後30分程経過観察を要します。副反応出現率は2%程度、口腔内違和感や、耳・喉のかゆみが多く、程度によっては内服継続により消失します。

私自身、春先もしくは1年中「鼻で呼吸ができない」、「学校にもティッシュ箱を持参している」などとお困りのお子さんに出会いますが、舌下免疫療法を開始した方から「鼻だけでなく皮膚や目の調子もよくなり学校のティッシュ箱もいらなくなりました！」と報告をいただきました。効果に個人差はありますが、治療開始後8割の方に有効で、そのうち2割は症状が消失したと言われており、この治療で毎日が少し快適になるかもしれません。

ダニに対する治療には季節の制限はありません。一方、スギ花粉症に対する治療は花粉飛散時期を外した5～10月が目安です。毎年お困りの方、来年の花粉症にもまだ間に合います！

主治医の先生にご相談ください。



※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

